

令和元年度特定侵害訴訟代理業務試験

論点 [事例問題 2]

問 1 起案

- 1 被告標章の称呼の認定
- 2 商標の類否に関する判断基準及びそのあてはめ
- 3 被告商品と指定商品との類否判断
- 4 被告商品において複数の標章が表示されている場合の商標的使用
- 5 権利濫用の抗弁における具体的主張

問 2 小問

- (1) ア 民法第177条の第三者  
イ 賃貸人たる地位の移転  
ウ 通常実施権の対抗要件、特許権の通常実施権における当然対抗制度
- (2) ア 訴訟上の和解の意義及び効果  
イ 和解による解決の長所（一審原告の立場）